MITSUBISHI ELECTRIC

Changes for the Better

EV用パワーコンディショナ

総合カタログ 住宅用 2015-3

電気自動車を、「走る蓄電池」に。

電気自動車に電力を蓄えて、家庭で使う。
先進のV2Hシステムがここに。

世界初※1!!
EVと太陽光発電システム、
系統の電力を
同時に使用可能。

（イラスト・写真はイメージです。）

SMART V2H※2

〈V2H：Vehicle to Home〉

三菱電機スマートハウスソリューション
ENEDIA エネディア

※1：V2Hシステムにおいて。2014年7月31日発売。当社調べ。
※2：電気自動車（EV：Electric Vehicle）の蓄電池に蓄えた電気を家庭に供給すること（Vehicle to Home）

GOOD DESIGN
2014年度グッドデザイン賞受賞

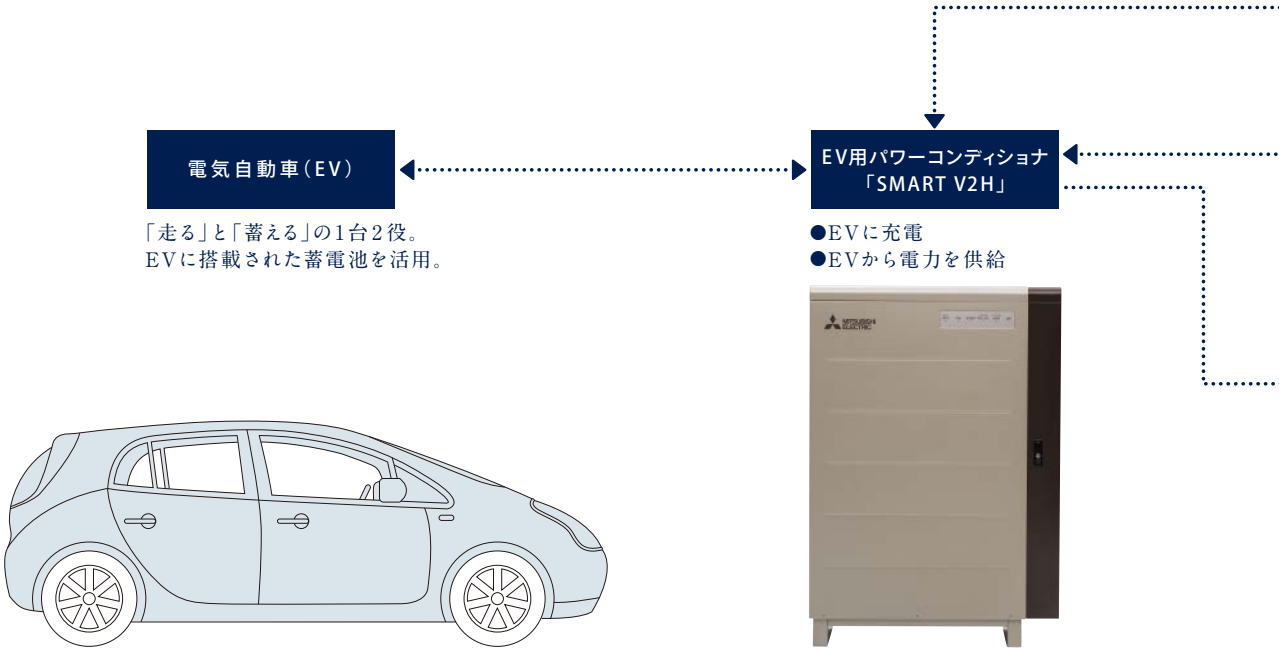
SMART QUALITY

本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

世界初※1、電気自動車(EV)と太陽光発電シス
系統の電力をMIXして使用できる「SMART

世界で初めて電気自動車(EV)と太陽光発電システム(PV)、系統(電力会社からの電力)、
三つの電力の同時使用を可能に。
新しいエネルギーソリューションとして注目されるV2Hシステムに、
三菱は大きな革新をもたらしました。
「SMART V2H」が、これからの家族の暮らしに必要な安心と快適をお届けします。

※1:V2Hシステムにおいて。2014年7月31日発売。当社調べ。



◎三菱の「SMART V2H」はここが違う

大容量
EVは大容量の蓄電池を搭載しているので、EVと「SMART V2H」の組み合わせにより、大容量蓄電システムを構築できます。

経済的
太陽光での発電が少ない時も、電気代が安い夜間に充電したEVの電力を使用できるので、トータルの電気代を減らすことができます。

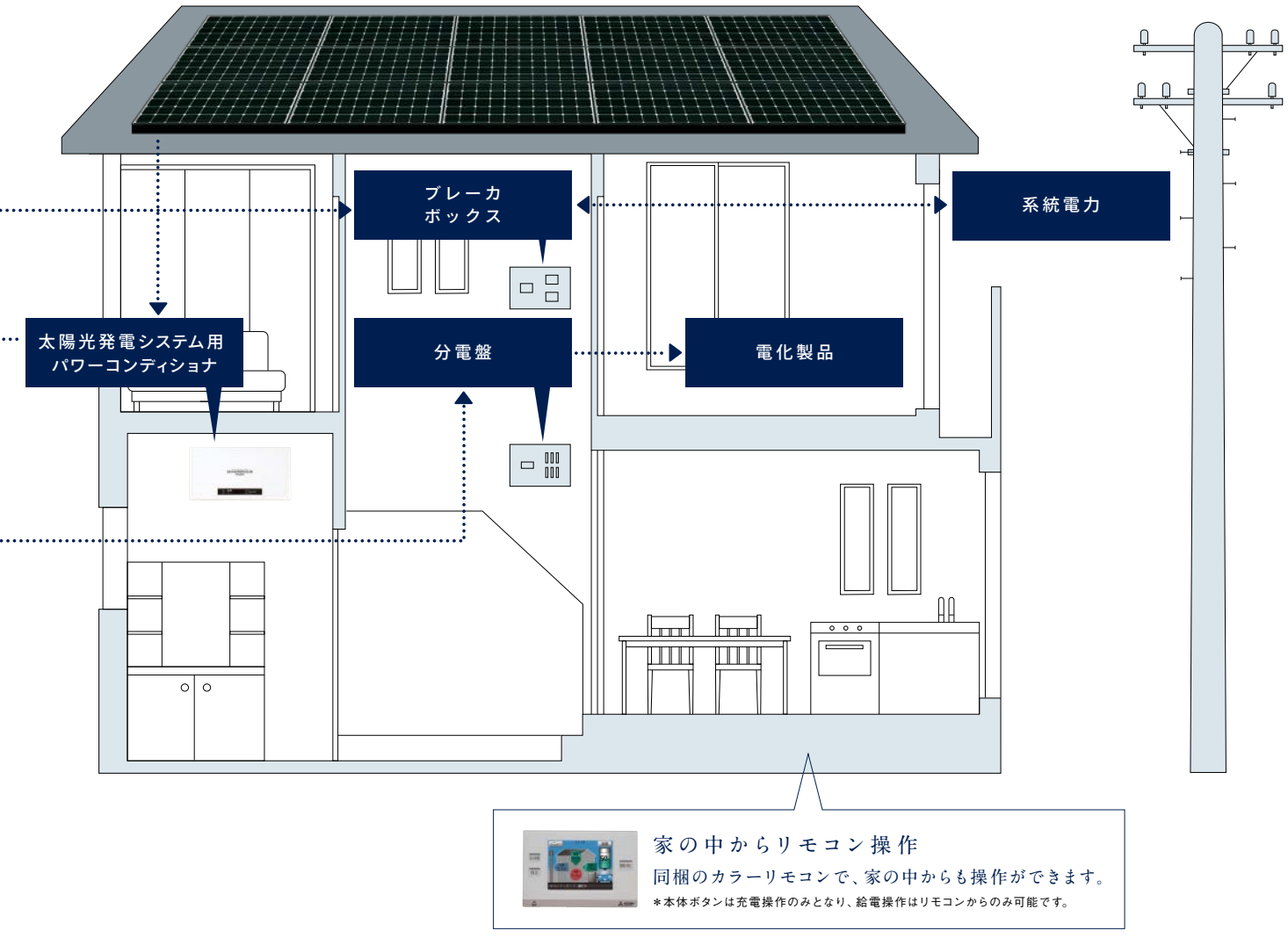
長期の停電に対応
万が一、停電が長引いた場合でも、昼間は太陽光発電システムの発電電力で家庭への電力供給とEVへの充電を行うことができ、夜間はEVの電力を使うことができます※3。

テム（PV）、

V2H」。〈V2H：Vehicle to Home〉

住宅用太陽光
発電システム（PV）

設置済みの三菱太陽光発電システムとの連携はできます。他社の太陽光発電システムについては連携できるものもあります。※2



家の中からリモコン操作

同梱のカラーリモコンで、家の中からも操作ができます。

＊本体ボタンは充電操作のみとなり、給電操作はリモコンからのみ可能です。

◎ライフスタイルと目的に合わせて選べる2タイプ

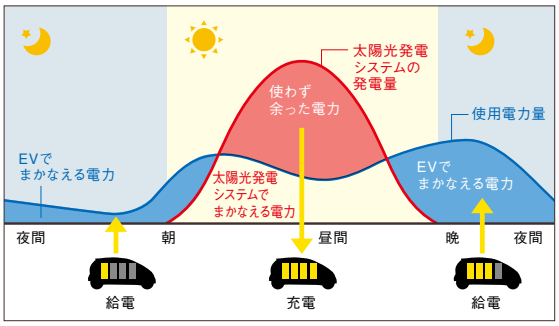
タイプM	〈太陽光発電システムでつくった電力をできるだけ多く売りたい方向け〉 ダブル発電買取単価（30円／kWh※4）が適用されます。
タイプY	〈電力会社からの電力の購入をできるだけ減らしたい方、 太陽光発電システムでつくった電力を余剰買取単価で売りたい方向け〉 余剰買取単価（37円／kWh※4）が適用されます。

※2：詳しくは販売店へご相談ください。※3：天候や接続する太陽光発電システムの能力により、使用可能な電力量や充電量は変化します。電気自動車の接続が必要です。
※4：平成26年度（2014年4月～2015年3月）固定買取価格制度。

万が一のときも電気の続く暮らし。
家族を思うって
こういうことかもしれない。

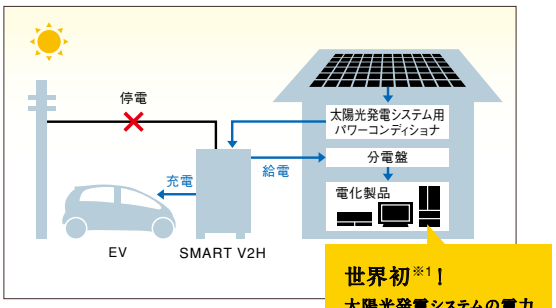
停電しても電気の続く暮らしを。
新開発「シームレス充放電技術」と
「自立運転時PV連携技術」により、
世界で初めて※1停電時も安定した電力使用を実現。

従来のV2Hシステムでは、充電と放電の切り替え時に電力供給停止時間（瞬時停電）が発生するため、停電時には、EVから家庭内に給電はできますが同時にPVからEVへの充電はできないことから、EVの蓄電電力の残量分しか給電できませんでした。SMART V2Hなら、電力供給停止時間（瞬時停電）なくEVの充放電が切り替えできる「シームレス充放電技術」と、停電の際にPVのパワーコンディショナを制御してPVの発電電力を通常時と同様に使える「自立運転時PV連携技術」により、停電が継続した場合でも、PVから家庭内への給電とEVへの充電、同時にEVから家庭内への給電が可能※2になります。



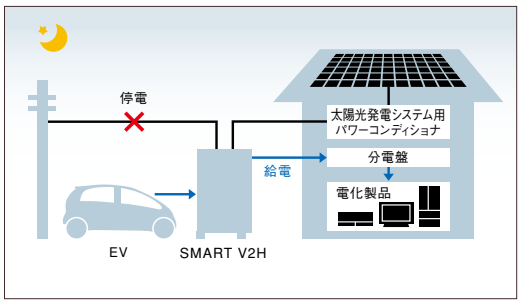
昼は太陽光発電システム、夜はEVからの給電で停電が長引いても安心

■ 昼は太陽光発電システムで給電+EVへ充電



世界初※1！
太陽光発電システムの電力だけで足りない場合は、EVからも同時に給電。

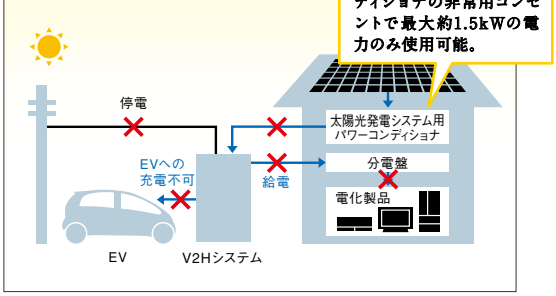
■ 夜はEVから給電



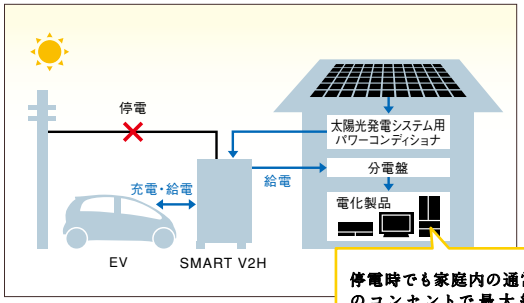
停電時にも太陽光発電システムの能力をフルに活用できます

■ 従来のV2Hシステムの場合

停電時はPVのパワーコンディショナの非常用コンセントで最大約1.5kWの電力のみ使用可能。



■「SMART V2H」の場合



停電時でも家庭内の通常のコンセントで最大約6kWの電力が使用可能！

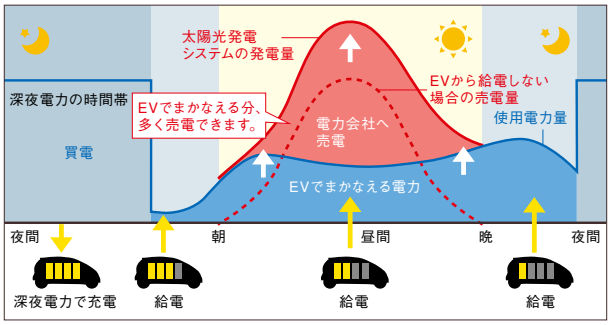
※1：V2Hシステムにおいて。2014年7月31日発売。当社調べ。※2：天候や接続する太陽光発電システムの能力により、使用可能な電力量や充電量は変化します。電気自動車の接続が必要です。

エコノミーモード(売電最大)[タイプMのみ]

毎日、売電量をチェック。
晴れの日を楽しむ暮らしって
ちょっといい。

昼間の使用電力量が多いご家庭や、太陽光発電システムの売電量を増やしたいご家庭にぴったりの運転モード。

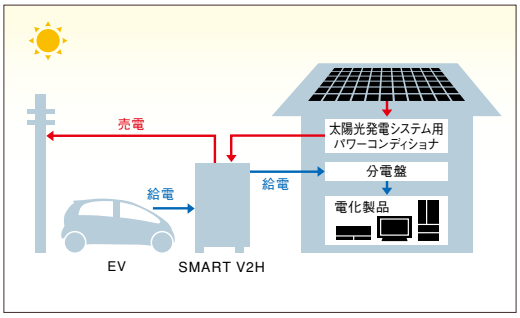
夜間に安価な夜間電力を購入し、
EVに充電しておきます。昼間はEVからの
給電で使用分をまかなえる場合、
太陽光発電システムで発電した分をすべて
ダブル発電価格※1で売電※2。
昼間の使用電力量が多いご家庭でも
売電量を増やすことができます。



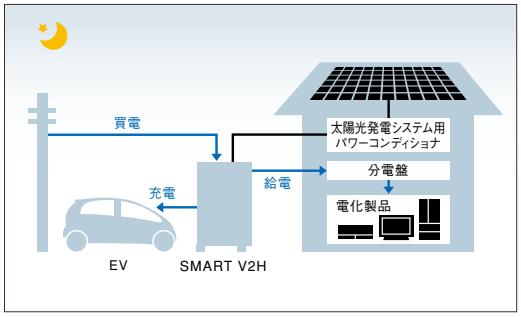
売電量が増える仕組み

昼間の使用電力量をすべてEVからまかなえる場合、
太陽光発電システムのみのときよりも、売電量が大幅に増えます。

■ 昼間は太陽光発電システムの電力をすべて売電



■ 夜間は安い電力で充電・給電



※1：ダブル発電価格とは

昼間に家庭内で使う電力をEVから給電し、太陽光発電システムで発電した分の電力を売電することをダブル発電といいます。この場合、売電単価はダブル発電価格（30円／kWh、平成26年度）となり、売電単価はエコノミーモード（余剰売電）に比べて低くなりますが、総売電量は多くなります。

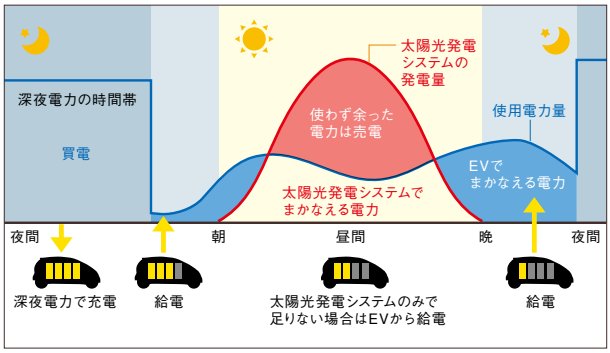
※2：EVに蓄えられた電力は家庭用の電力として使用することができますが、売電することはできません。

エコノミーモード（余剰売電）［タイプM※2・タイプY共通］

余った電力だけを売る。
バランスよく暮らして
いきたいですから。

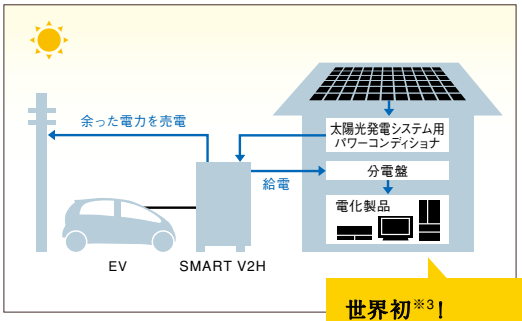
昼間の使用電力量が少ないご家庭や、余った電力を高い価格で売電したいご家庭にぴったりの運転モード。

昼間は基本的に太陽光発電システムで
使用する電力をまかないます。
足りない場合は、安価な夜間電力で充電した
EVからも給電できるので安心です。
太陽光発電システムで電力が余った場合は、
余剰買取価格※1で売電※2。
昼間の使用電力量が少ないご家庭や、
昼間は通勤利用などで自宅にEVを
停めていないご家庭におすすめです。



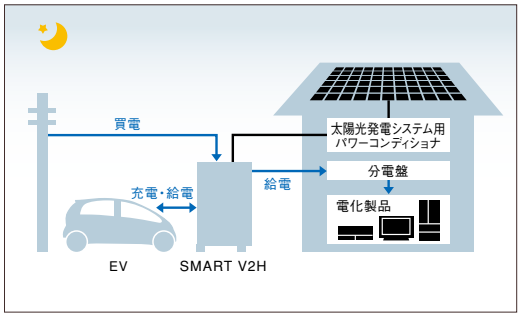
電気代を抑える仕組み

■ 昼間は太陽光発電システムで給電+余剰を売電



世界初※3！
太陽光発電システムの電力だけで足りない場合は、EVからも同時に給電。

■ 夜間は安い電力で充電・給電



※1：余剰買取価格とは

昼間に使う電力を太陽光発電システムでまかない、余った電力のみを売電する（太陽光発電システムで発電中はEVからの給電はしない）場合は、余剰買取価格（37円／kWh、平成26年度）となります。エコノミーモード（売買最大）に比べて総売電量は少なくなりますが、売電単価は エコノミーモード（売買最大）より高くなります。

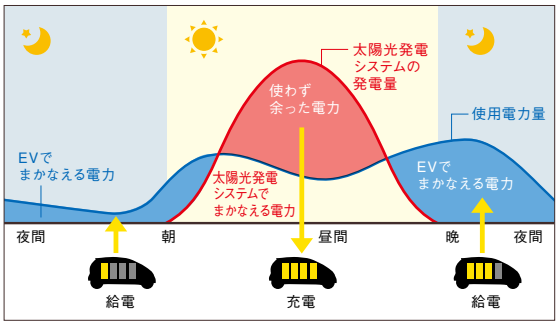
※2：タイプMでも余剰売電モードに設定することができますが、売電単価はダブル発電価格となります。

※3：V2Hシステムにおいて。2014年7月31日発売。当社調べ。

めざすのは電力の自給自足。
太陽と暮らすと家族が
いきいきしてくる。

エコライフを追求したい。
購入電力量ゼロをめざすご家庭に
ぴったりの運転モード。

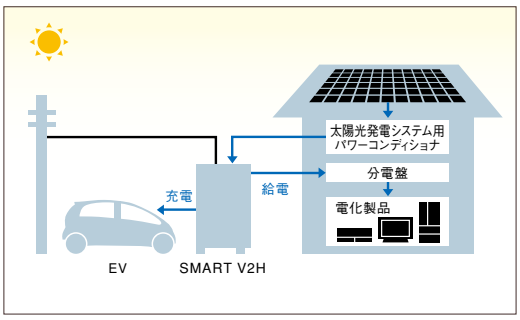
基本的に太陽光発電システムのみで家庭内の電力をまかないます。昼間は太陽光発電システムの電力を家庭で使用し、使わずに余った分をEVへ充電。夜間にはそのEVから電力をまかなうことができます。充電量が足りない場合のみ、電力会社からの電力を使用。無理なく電力の自給自足をめざすご家庭や、昼間EVを自宅に停めていることが多いご家庭におすすめです。



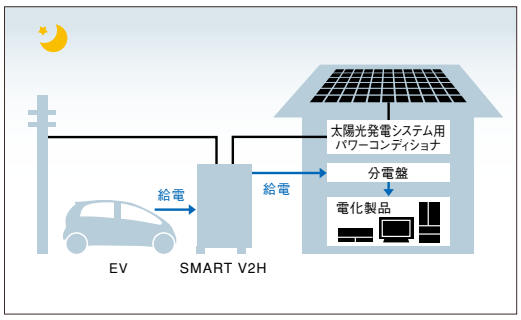
太陽光発電システムの電力を優先的に使用。足りない場合のみ電力会社からの電力を使用します。また、タイマーで夜間の電力を充電する設定も可能です。

太陽光発電システムだけで生活できる仕組み

■ 昼間は太陽光発電システムで給電+EVへ充電



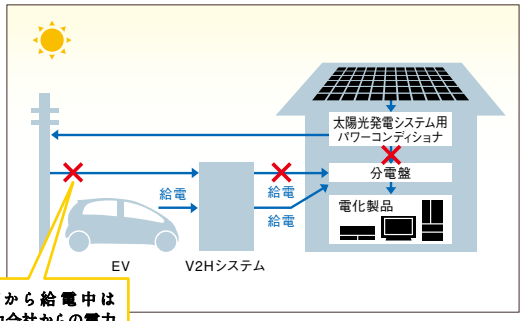
■ 夜間はEVから給電



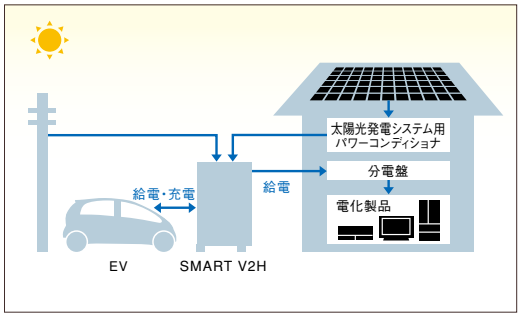
世界初※、「電力需給制御システム」により、EV・PV・商用電力を混ぜて使用可能

従来のV2Hシステムでは、EVから家庭内に給電する際に商用電力を遮断するため、EVの蓄電電力とPVの発電電力、商用電力を混ぜて使用することはできませんでした。SMART V2Hなら、EV・PV・商用電力をモニターし、自動で最適制御する「電力需給制御システム」の採用により、これら3種類の電力を混ぜて使用できます。PVの発電電力量が少ない悪天候時でも、家庭内で不足している電力をEVから給電することができ、商用電力消費のピークシフトに貢献します。

■ 従来のV2Hシステムの場合



■「SMART V2H」の場合



※V2Hシステムにおいて。2014年7月31日発売。当社調べ。

充電器としての
EV用パワーコンディショナ
「SMART V2H」。

GOOD DESIGN

2014年度グッドデザイン賞を受賞。停電時でも一週間以上※、住宅への電力供給が可能で非常時でも違和感なく快適に活用することが出来る点、そして室外設置としてのデザイン性が評価され受賞いたしました。
※天候や電気使用量による。

◎ケーブルの長さは5.5mまたは7.5mとなります。
◎充電コネクタはCHAdeMO（チャデモ）規格を採用。
◎高出力6kW仕様。EVの充電は200Vの普通充電器に比べ、約半分※の時間で完了します。

※200V普通充電器（出力3kW）とSMART V2H（出力6kW）を比較した場合。
［上記写真は、オプションの鍵付ケーブルカバーを装着した場合。］

■安心のための4つの配慮

雨が降っても安心 ［防水設計］

安心して外に置いていただけるように、本体はもちろん、EVとコネクタを接続した状態でも水の飛沫の影響がない仕様です。（雨の日に使う際の注意事項は、P16のQ&Aをご覧ください。）

万が一でも安心 ［過電流安全停止装置］

規定よりも大きな電流が流れた場合には、自動的に充放電を停止。故障などを未然に防ぐことができます。

鍵のかかる安心 ［施錠付き収納］

いたずらや盗難防止のために、使用していないときはコネクタの収納ボックスを施錠できます。
［オプションの鍵付ケーブルカバー装着時。］

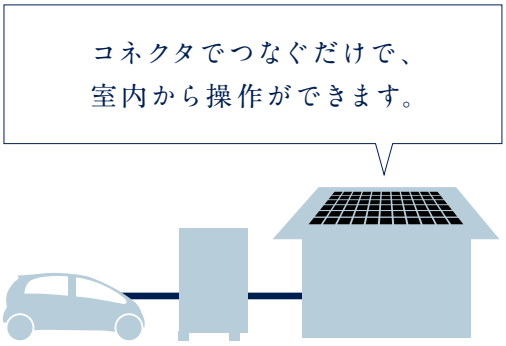
使いすぎのない安心 ［電力の自動調整機能］

契約電力に合わせて充電量を自動で制御します。使い過ぎでブレーカが落ちることを防ぎます。

室内からリモコン操作で
かんたん充電。

付属の専用カラーリモコンで、
部屋のなかから運転状況の確認やEVへの充電をすることができます。

■ スマートに操作ができる専用カラーリモコン



◎EVのバッテリー残量や電気の流れなど、必要な情報を一目で確認。
◎エコノミーモード、グリーンモード、自立運転（非常時）モードなどの設定が可能。

■ 直感的なかんたん操作ができるタッチパネル式

EVへの充電

STEP1

EV充電ボタンを押すと、
リモコン画面内にポップ
アップ画面が表示されます。

STEP2

「はい」ボタンを押すと
充電が開始されます。

停電時の運転

STEP1

停電が起きた場合には、
リモコン画面内にポップ
アップ画面が表示されます。

STEP2

「OK」ボタンを押すと
給電が開始されます。

（画面はハメ込み合成です。実際の画面とは異なる場合があります。）

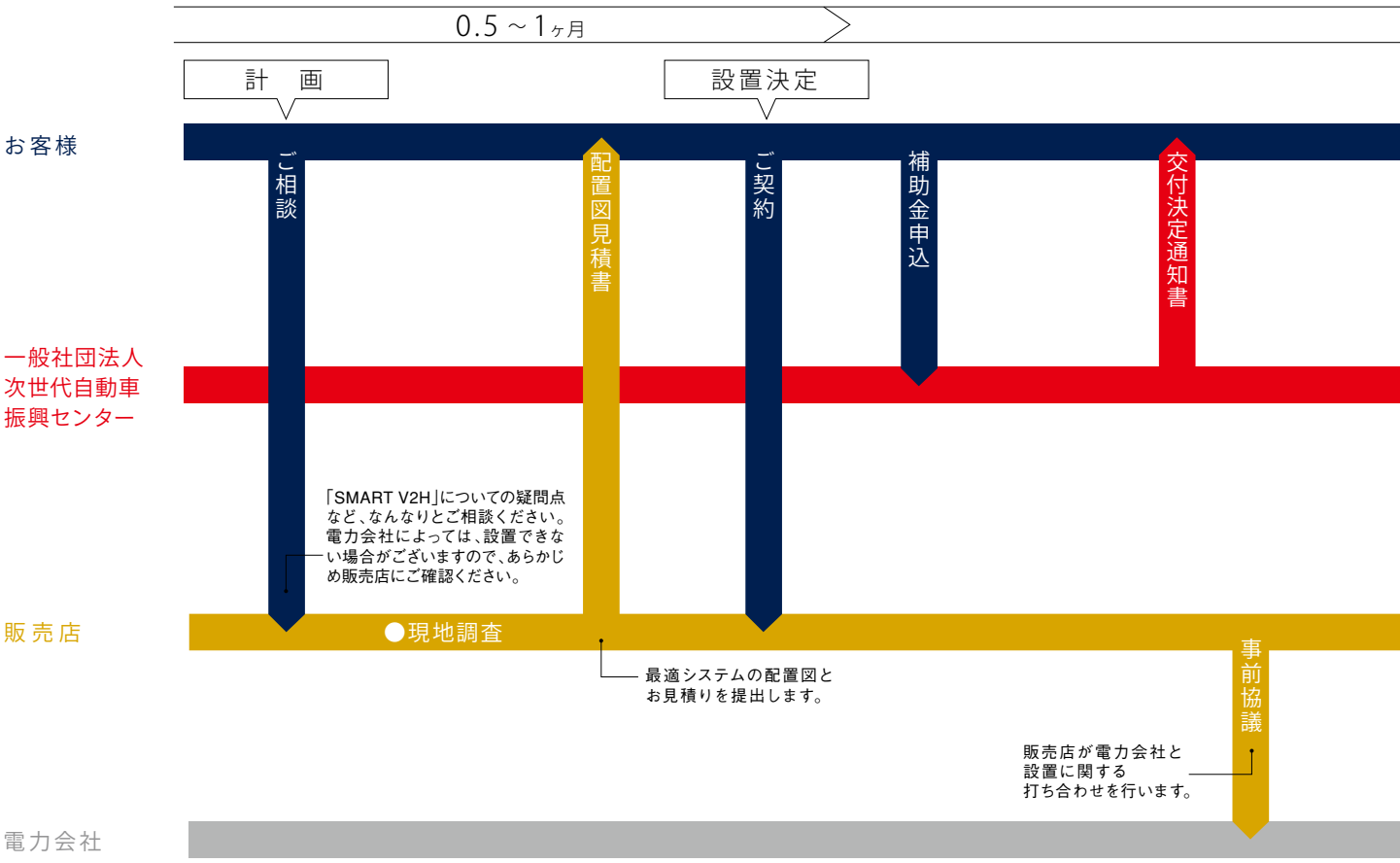
ご相談から導入まで、トータルサポート。

①計画

まずは、お近くの販売店にご相談ください。お客様のご自宅を調査の上、配置図とお見積りを作成します。

②設置決定

設置内容が決まりましたら、ご契約となります。あわせて次世代自動車振興センターへ補助金申請を行います。



国の補助金制度

■設置に対する補助金制度※1

【申請受付期間】

2013年3月19日（火）～2015年2月27日（金）※2

【補助対象と補助率】

充電設備機器費の1/2もしくは40万円のいずれか低い方の金額となります。

【対象者】

住宅に対象システムを設置しようとする個人または法人

【条件】

充電設備は、原則8年間保有することが義務付けられます。保有義務期間満了前に充電設備の処分、譲渡を行うと、補助金の返納を求められることがあります。

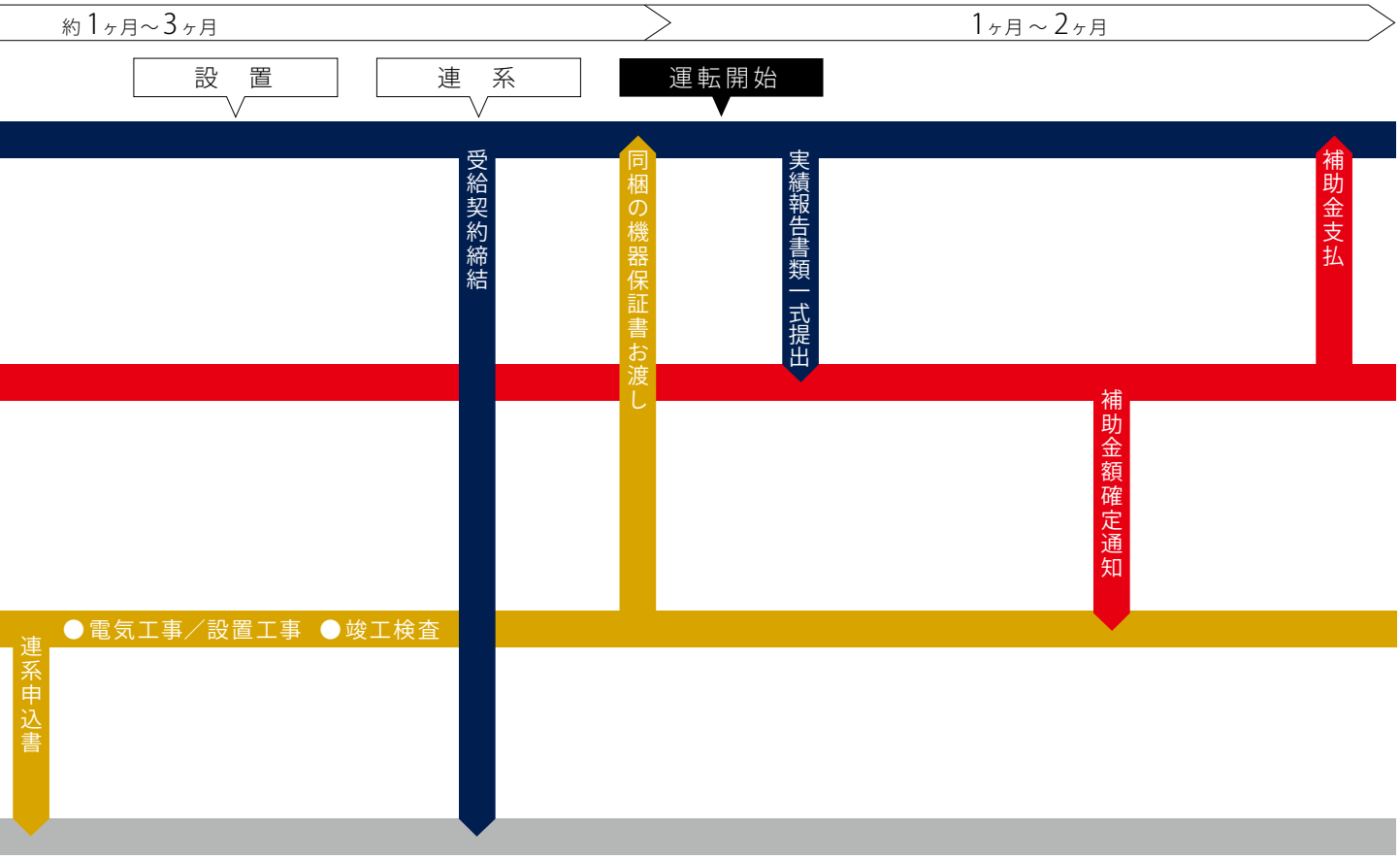
対象のシステムや、その他制度の詳細、申請手続き等については、販売窓口にお問い合わせいただくか、次世代自動車振興センターのWebサイトをご覧ください。
www.cev-pc.or.jp

③設置

電気工事、設置工事、竣工検査などを経て完成です。また、系統電力と連系できるように、電力会社と受給契約を締結します。

④運転開始

補助金の支払いを受けるための完了報告の申請を行います。



■自治体等の助成制度

自治体からの補助金、融資、税制優遇が得られる場合がございます。詳しくは、次世代自動車振興センターのWebサイト（www.cev-pc.or.jp）、もしくは各自治体へお問い合わせください。

※1:正式名称は、平成24年度補正予算「次世代自動車充電インフラ促進事業」です。※2:先着順受付となりますので、補助金予算額に達した時点で、期間内でも受付が終了される場合があります。条件等により、利用できない場合があります。2015年10月30日（金）までに、設置工事が完了し、機器および設置工事費のお支払いを終了させ、実績報告書を提出することが必要です。受付終了後の補助金制度については、次世代自動車振興センター、もしくは当社販売会社にお問い合わせください。

EV用パワーコンディショナ「SMART V2H」についてのよくあるご質問。

Q SMART V2Hの対象車種を教えてください。

A 充電機能は、CHAdeMO（チャデモ）の急速充電口がある車種（CHAdeMO規格充電対応車）であれば、対応可能です。給電（V2H）機能は、三菱自動車MiEV（ミーブ）シリーズ、アウトランダーPHEV、日産自動車リーフが対応しています。（2015年2月現在。今後対象車種を追加予定です。）

Q 既に購入、使用している三菱自動車MiEVシリーズ、アウトランダーPHEV、日産自動車リーフでも、SMART V2Hを使用することは可能ですか？

A 急速充電口付き車両であれば充電は可能ですが、給電は車両のソフトウェアの改修が必要な場合があります。ソフトウェア改修については各自動車販売店様にお問い合わせください。

Q SMART V2H本体はどこに設置すればよいですか？

A 基本的には屋外に設置することになります。電気自動車に充電ケーブルが届く約1.9m×1.6mのスペースに設置し、直射日光があたる場所は避けてください。温度環境は、−10℃〜+40℃です。降雪時に雪に埋もれるところ、塩害地域、重塩害地域には設置できません（P18参照）。直射日光があたって温度が上昇した場合、温度環境を外れた場合、降雪等で吸気口や排気口が塞がれて排熱できなくなった場合は、出力を制限したり、運転を停止することがあります。

Q タイマー設定はできますか？

A SMART V2Hの屋内リモコンで設定可能です。

Q 充電完了を確認する方法は？

A SMART V2Hの屋内リモコンで確認できます。

Q 目標充電量を任意に設定することはできますか？

A SMART V2Hの屋内リモコンで設定可能です。

Q 音は発生しますか？

A 運転時にはエアコンの室外機と同様にファンの動作音が発生します。

Q SMART V2Hの充電機能を使用している間に、電力の使いすぎによってブレーカが落ちる可能性はありますか？

A 契約電力に合わせて充電量を自動制御しますので、充電中に電力の使いすぎでブレーカが落ちることを防ぎます。

Q 急に出かけることになったときなどに、充電を途中でやめてケーブルを抜いても大丈夫ですか？

A 途中で充電をやめてケーブルを抜くことは可能です。

Q 雨の日に充電することはできますか？

A 可能です。ただし、雨が降っているときは感電を防止するために、急速充電口やコネクタを濡れた手で触らないようにして充電してください。また、感電や漏電を防止するために、急速充電口やコネクタを濡らさないこと、万が一急速充電口やコネクタが濡れてしまったときは、布などで水分を拭き取るなど、取り扱いには十分ご注意ください。また、大雨や強風の日、落雷の可能性がある日などは、充電を行わないでください。ご使用の前に、お客様の電気自動車の取扱説明書や、メーカーホームページなどもご確認ください。

Q SMART V2Hと定置型蓄電池の併設はできますか？

A 併設はできません。

Q 設置済みの三菱太陽光発電システムや他社の太陽光発電システムとの併設はできますか？

A 設置済みの三菱太陽光発電システムとの連携はできます。他社の太陽光発電システムについては連携できるものもあります。詳しくは販売店へご相談ください。

Q EVの蓄電池に電力を残しながら、家庭への給電をすることはできますか？

A 可能です。SMART V2Hは、EV搭載蓄電池の残量率を設定することができます。

Q 使用している家電製品の使用電力の合計がSMART V2Hの給電能力を超えた場合、どうなりますか？

A EVから供給される電力と電力会社から供給される電力の併用が可能ですので、超過分のみを電力会社から追加で購入することになります。

Q 自立運転時にEVの電力を使う場合に、注意する機器はありますか？

A 総容量6kVA、片相容量5kVAを超える消費電力が大きい機器、運転開始時に大きな電流が流れる機器（例：井戸水ポンプ）、独立した電源となる機器（例：発電機）を使用すると、SMART V2Hが停止する場合があります。また、電力線を通信回線として利用する機器（例：PLCネットワークアダプター）の場合、正常に通信ができなくなることがあります。

Q 保証期間はどのくらいですか？

A 無料保証期間は1年です。

Q メンテナンスは必要ですか？

A 製品に内蔵されている自立運転時の起動用の鉛蓄電池は、3年半毎に交換（有料）が必要です。交換時期はリモコンに表示されます。費用など詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

Q SMART V2Hの電磁波が心臓ペースメーカーに与える影響について教えてください。

A 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので、次のことをお守りください。

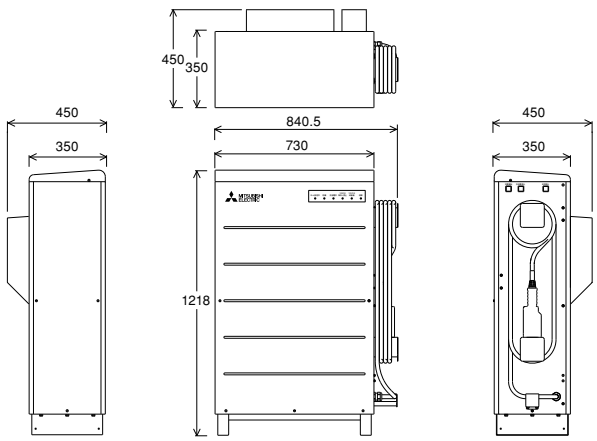
- 充電中、給電中の本製品に近づかないでください。
- 本製品を操作する必要がある場合は、他の方が操作してください。

商品概要

【製品仕様】

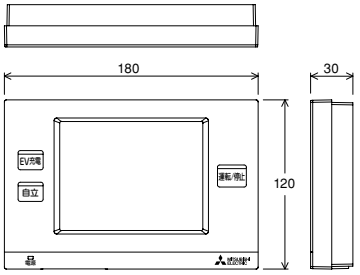
商品名		EV用パワーコンディショナ「SMART V2H」			
形名		EVP-SS60A-M5	EVP-SS60A-Y5	EVP-SS60A-M7	EVP-SS60A-Y7
外形図					
設置場所		屋外（ビルトイン駐車場を含む）※1			
保護等級		IP45 ※2			
使用温度範囲		－10～40℃			
ＥＶ側定格電圧		DC380V			
ＥＶ側最大電流		DC25A			
ＥＶ側電圧範囲		DC150～450V			
ＡＣ側定格電圧、周波数（連系運転時）		AC202V、50/60Hz			
ＡＣ側定格電圧、周波数（自立運転時）		AC202/101V、50/60Hz			
ＡＣ側定格電力(連系運転時)		6.0kW			
ＡＣ側定格電力（自立運転時）		6.0kVA（片相100V集中負荷時：5.0kVA）			
電力変換効率		90%※3			
出力基本波力率		0.95以上			
高調波電流歪み率		総合5%以下、各次3%以下			
運転時騒音		45dB以下※4			
主回路方式	変換方式	電圧型電流制御方式			
	スイッチング方式	正弦波PWM方式			
	絶縁方式	高周波絶縁トランス方式			
	電気方式（連系運転時）	単相2線式（単相3線式配電線に接続）			
	電気方式（自立運転時）	単相3線式			
保護機能	連系保護	OV、UV、OF、UF			
	単独運転検出方式	受動的方式、能動的方式			
質量※5		155kg			
外形寸法（W×D×H）※6		841×450×1218mm			
充電ケーブル長さ		5.5m	5.5m	7.5m	7.5m
希望小売価格（税別）		950,000円	950,000円	970,000円	970,000円

※1：本商品の設置条件は、周囲温度－10～40℃の一般地域。塩害地域及びこれに相当する地域には設置不可。直射日光があたる場所は避けてください。※2：JISC0920で規程する防塵防水に関する保護等級を示しています。いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない防噴流形であることを示すものであり、故障や破損が一切生じないことを保障するものではありません。※3：最大効率。※4：JISC1509-1で規程するA特性サウンドレベルを示します。製品外郭より1m、高さ1mでの測定値です。運転音は反響の少ない無響音室で測定した数値です。※5：充電ケーブル5.5m仕様の場合。※6：本体背面突起物、取付足部含む。



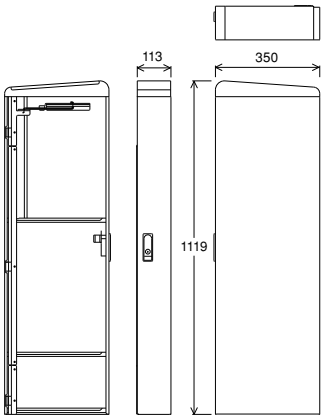
●本体同梱リモコン

外形図	
表示機能	●買電電力、売電電力、充電電力、給電電力、発電電力、消費電力 （各電力は数値表示、電力の流れは矢印アニメ表示） ●売買電電力量、充給電電力量、発電電力量、消費電力量 （各電力量は数値及びグラフ表示） ●EV電池状態（電池残量、充電上限、放電下限） ●EV状態（EV接続/未接続、放電対応/未対応車） ●システム状態説明（装置運転状態、運転要求、操作優先情報など） ●系統状態（通電、停電） ●現在時刻 ●各種設定メニュー画面など
付属品	取付板、取付ネジ、ケーブル20m※7
EV用パワーコンディショナとの通信方式	RS485
使用環境条件	0℃～40℃（30%～90%RH、結露状態なし）、屋内
質量	約380g
外形寸法（W×D×H）	180×30×120mm



●オプション（別売）

商品名	鍵付ケーブルカバー
形名	EVP-AC01
外形図	
付属品	ケーブルガイド、カギ（2個）、取扱説明書
質量	約9kg
外形寸法（W×D×H）	113×350×1119mm
希望小売価格（税別）	30,000円



【施工上の注意】

地域	海岸からの距離				
	重塩害地域※11	～1km	1～2km	2～7km	7km以上
沖縄	設置不可	塩害地域（設置不可）			
離島※8					
瀬戸内海※9		塩害地域（設置不可）	一般地域		
北海道・東北日本海側※10		塩害地域（設置不可）			一般地域
その他の地域		塩害地域（設置不可）		一般地域	

※7:オプション（別売）として50mケーブル（形名：EVP-AK01 希望小売価格（税別）30,000円）もご用意しております。※8:北海道・本州・四国・九州を除く、すべての島。※9:本州（兵庫県相生市）～（山口県下関市唐戸町）／四国（香川県東かがわ市）～（愛媛県南宇和郡愛南町） ※10:北海道（松前町）～（稚内市）／東北（青森県東通村）～（山形県鶴岡市）。※11:海岸より飛散した海水が直接かかる地域。

EV用パワーコンディショナ

三菱電機スマートハウスソリューション ENEDIA エネディア

家庭内のエネルギーをかしこく管理・制御する次世代住宅、「スマートハウス」。三菱電機のスマートハウスソリューション「ENEDIA（エネディア）」は、さまざまな家電・設備をつないでコントロールするHEMSを中心に、「創エネ・蓄エネ・省エネ」を組み合わせたトータルのソリューションとしてご提案。ワンランク上のスマートハウスづくりをサポートします。

あしたを、暮らしやすく。
SMART QUALITY

暮らしの「本質」を見つめた、新しいものづくりへ。

これからの豊かさや幸せのために、私たちは「省エネ化」「省資源化」という社会全体の課題を解決しながら、人と社会・地域をつないで、ひとりひとりの「暮らしのクオリティ」を高める、新しいものづくりを推進していきます。

eco Changes

三菱電機グループは、「より良い明日」に向けたものづくりに取り組んでいます。

- かしこく：独自のセンシング技術で、かしこく制御して商品使用時のCO_2排出量削減を目指します。
- つないで：これからのスマート技術で、家中の家電をつないで効率的な制御を目指します。
- ムダなく：リサイクル技術で、使用済み家電の自己循環リサイクルを推進し、資源の有効活用を目指します。

三菱は「太陽光発電」相談所　太陽光発電のことなら、なんでも三菱へ。

技術的なお問い合わせのフリーダイヤル。（製品仕様・施工に関することetc.）

三菱太陽光発電技術相談センター　0120-314-382（ミッ ピ ー シ サン ハ ツデン）　受付時間／9～12:00、13～17:00（土日祝日・当社休業日除く）

安全に関するご注意

- ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- EV用パワーコンディショナの内部は高電圧がかかっているので絶対にカバーを開けないでください。
- 設置工事はお買上げの販売店へご依頼ください。

保証書

保証書は必ずお受け取りください。
この商品には保証書がついています。ご購入時は必ず保証書をお受取りの上、大切に保存してください。尚、お買い求めの販売店・お引渡し年月日の記載のないものは無効となります。また、お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

- EV用パワーコンディショナを長年安全にご使用いただくため、3年半毎に自立運転時の起動用の鉛蓄電池の交換が必要です。費用など詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 使用済み鉛蓄電池は、廃棄物処理法によりお客様が適切に処理することが求められます。廃棄方法については、お買い上げの販売店、地方自治体にご相談ください。
- EV用パワーコンディショナの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後11年です。
- 三菱自動車工業株式会社「MiEV（ミーブ）シリーズ」の急速充電口付き車両との接続が可能です。年式、グレード等によりソフトウェアのバージョンアップが必要な場合がありますので、詳細は各自動車販売店様にお問い合わせください。駆動用バッテリーの容量維持のため、出来る限り、2週間に1回程度は普通充電で満充電にしてください。EV用パワーコンディショナ使用時は、MiEV（ミーブ）の急速充電口に接続するため、リモート機能はご使用になることができません。（MiEV（ミーブ）リモートは普通充電ケーブル接続時のみご使用いただけます。）
- 三菱自動車工業株式会社「アウトランダーPHEV」の急速充電口付き車両との接続が可能です。年式により放電できる容量が異なりますので、詳細は各自動車販売店様にお問い合わせください。V2H機器に接続している場合、エンジンによる発電はできません。駆動用バッテリーの容量維持のため、出来る限り、2週間に1回程度は普通充電で満充電にしてください。EV用パワーコンディショナ使用時は、アウトランダーPHEVの急速充電口に接続するため、三菱リモートコントロールのうち、タイマー充電とプレ空調機能はご使用になることができません。（普通充電ケーブル接続時のみご使用いただけます。）効率的にV2Hをお使いいただくため、ある程度の負荷がある状態でのご使用をお奨めします。
- 日産自動車株式会社「リーフ」との接続が可能です。ただし、車台番号が「ZE0-」で始まる車両及び、車台番号が「AZE0-050001～053467」で、ソフトウェア改修を実施していない車両（充電ポートリッド部に「LEAF to Home」対応ステッカーが貼っていない車両）は自動車販売店様でのソフトウェア改修が必要となります。ソフトウェア改修については各自動車販売店様にお問い合わせください。誤動作する場合があるため、EV-IT機能はご使用になることができません。
- 降雪時に雪に埋もれるところ、塩害地域、重塩害地域には設置できません。その他系統連系協議により設置できない場合がありますので当社販売会社にお問い合わせください。

- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物と実物では多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 「MiEV（ミーブ）」「アウトランダー」は、三菱自動車工業株式会社の登録商標です。
- 「リーフ」は、日産自動車株式会社の登録商標です。
- 「CHAdeMO（チャデモ）」は、EVの急速充電方法の商標で、CHAdeMO（チャデモ）協議会の登録商標です。

国内用商品

本カタログに記載の製品は、日本国内用ですので、日本外では使用できず、またアフターサービスもできません。

三菱電機株式会社　京都製作所　〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

お問い合わせは下記へどうぞ

三菱電機住環境システムズ（株）北海道支社 …… 〒004-8610 札幌市厚別区大谷地東2-1-11 …… ☎（011）893-1391
三菱電機住環境システムズ（株）東北支社 …… 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-12-1（仙台MMビル） …… ☎（022）742-3025
三菱電機住環境システムズ（株）東京支社 …… 〒110-0014 東京都台東区北上野1-8-1 …… ☎（03）3847-4143
三菱電機住環境システムズ（株）中部支社 …… 〒461-0040 名古屋市東区矢田2-15-47 …… ☎（052）725-2044
三菱電機住環境システムズ（株）関西支社 …… 〒564-0063 吹田市江坂町2-7-8（江坂第1ビル） …… ☎（06）6338-9701
三菱電機住環境システムズ（株）中四国支社 …… 〒730-0022 広島市中区銀山町3-1（ひろしまハイビル21） …… ☎（082）504-7361
四国営業本部 …… 〒761-1705 高松市香川町川東下717-1 …… ☎（087）879-1066
三菱電機住環境システムズ（株）九州支社 …… 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-9-15（Esteem 福岡） …… ☎（092）476-7107

お買求め、ご相談は信用とサービスの行きとどいた当店へどうぞ。

三菱電機もしくは当社販売会社と誤認させて、電話勧誘したり、お客様の意思に反して強引に販売する訪問販売業者にご注意ください。
訪問販売や電話勧誘販売は消費者保護を目的とした法律※の適用を受けます。
※特定商取引法（旧訪問販売法）・消費者契約法
（消費者と事業者が結んだ契約全てが対象です）

VEGETABLE OIL INK

●「三菱EV用パワーコンディショナ」のホームページ
www.MitsubishiElectric.co.jp/smartv2h

S-175-4-C9365-F　京1503<IP>

2015年3月作成